

平成29年度第2回富士宮市女性応援会議 議事録

○日時 平成29年12月11日(月) 10時20分～11時50分

○場所 富士宮市役所 721会議室

○配布資料

- ・カジメン・イクメンフォトコンテスト実施報告資料
- ・イクボス宣言実施報告資料
- ・イクボス講座資料

次第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事

(1) 女性応援のための取組報告について

- ・カジメン・イクメンフォトコンテスト実施報告
- ・イクボス宣言実施報告

(2) 意見交換

- ・イクボス宣言について

- 4 閉会

- 1 開会・2 挨拶

事務局

皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、女性応援会議にご出席いただきありがとうございます。ただ今から平成29年度第2回女性応援会議を開会します。

本日は次第にありますように、皆様からご提案いただき、今年度実施しました取り組みについての報告と、今後の女性応援事業の推進に向けグループ形式での意見交換を予定しています。女性の活躍に向け具体的に実施できるところから取り組んで行こうと始まった取り組みであります。今日も、委員の皆様の、忌憚のないご意見をいただければと思います。

続きまして 3の議事に移ります。

- 3 議事

議長

それでは、次第により進めさせていただきます。

(1) 女性応援のための取組報告について

カジメン・イクメンフォトコンテスト、庁内イクボス宣言の取組みについて事務局から報告をお願いします。

事務局

配布資料：カジメン・イクメンフォトコンテスト実施報告資料、イクボス宣言実施報告資料により説明

（別紙のとおり）

議長

続きまして、議題（２）意見交換にはいります。

先ほど報告のありました「イクボス宣言」について、「イクボス」の取り組みを富士宮市として企業に広めていくために、また魅力あるイクボス宣言とするためにはどう取り組んでいけばよいかについて、委員の皆様のご意見を伺いたと思います。

また、会議の進め方ですが、２グループに分かれていただき、グループ形式による意見交換をお願いします。事務局より、補足をお願いします。

事務局

それでは、本日の意見交換ですが、先ほど事務局から報告しました「イクボス講座」の資料をお配りしました。講座受講後のアンケート結果から、ほぼ100%の管理職が講座の内容を理解、ほぼ理解することができ、90%が受講により何らかの発見、気づきがあるとの回答がありました。全体的な意見からも、今後意識したい、実践したい、取り組みたい、新しい行動をしたいと大変前向きな言葉が多く、イクボスの取り組みを推進するきっかけとして大変効果があったのではと思います。

前回の会議の中でもイクボスについて議論していただき、メリットについては委員の皆さんには、理解していただいているところですが、イクボスの考え方が「福利厚生」だけではなく経営戦略として実践することで、企業にとってもメリットであるという考え方を理解してもらい、働きやすい職場づくりに向けた取組として市内に広めていくためにはどのような手段手法が有効か、どのように訴えて、啓蒙、情報発信していけばよいか、について意見交換していただきたいと思います。

また、こんなメリットがあれば企業も取り組みやすいのではなど、グループで、具体的なご意見交換をお願いしたいと思います。

白井先生には、アドバイザーとして、フリーで各グループにご参加をお願いしたいと思います。進行、書記は事務局で行います。後ほど意見を発表をお願いします。

議長

それでは、お時間は15分程度でまとめていただき、後ほどグループごとに出された意見の発表をお願いします。

議長

それでは、よろしいでしょうか。皆さんから出していただいたご意見につきまして、グループごとに発表をお願いします。

意見発表

- ・イクボスの取り組みがプライベートも充実させて生産性のある仕事につながる、働く人だけでなく企業にとってもメリットがあるということを理解してもらうように働きかけることが必要である。正しい意味を市内に浸透させる。そのための勉強会を開く。
- ・勉強会、研修会を地道にやっていくことで取り組みも浸透していく。
- ・企業の経営者、管理者が集まっているところに出向き研修会等を行うことも有効である。
- ・イクボスという言葉が、子育てに限定した、子育てしているパパに対して配慮する取組、休暇の促進であるという偏った知識がある。
- ・この取り組みが就活している若い世代に対して武器となる取り組みであるということをPRしていく。
- ・この取り組みの大きさを経営者、管理職に理解してもらうことが必要。企業としても武器となる良い取り組みであるのという認知度を上げることが必要。
- ・富士宮市は「やきそばのまち」として有名だが、この取り組みが広がり、次は「イクボスのまち」というイメージが広がればさらに注目もされるのではないか。
- ・市のホームページでイクボスに取り組む企業を紹介し、それが企業のホームページにリンクすれば企業にとってもメリットになるので認知度も高まる。宣言後の様子を報告するなどよいのではないか。
- ・若い世代、就活世代にとってもPRできる取り組みであるので、若い世代に広めるには、インスタグラムなどのSNSを利用して紹介すれば人材確保にもつながる。
- ・イクボス宣言をした企業や取り組んでいる企業に、その進捗状況をインタビューするなどの報告の機会を設けたり、他企業への助言を聞くこともよいのではないか。
- ・若い世代だけでなく、年配の経営者にも広めて浸透させることが必要である。
- ・移住定住ポータルサイトに企業を載せてもらうようになれば、企業にとってもメリットになる。

議長

ご意見をいただきありがとうございます。

今皆さんから色々な意見が出ましたが、補足、ご意見等ありましたらお願いします。

アドバイザー白井教授

貴重なディスカッションになったと思います。写真展はとても面白く、良い写真が多く集まったのでぜひ毎年継続してやっていただきたいと思いました。

イクボスを考えることは、自分自身を振り返ってみても、どんな生き方がしたいか、どんな社会にしたいか、どんな風に子どもを育てたいか、という生き方そのもの、人生に関わっていくことだと思います。企業へ広げる取組みの中で、労働組合や、働く人に向けて、話することも大切だと思います。イクボス宣言の取組みを、自分のこととして、市民の皆さん一人一人

によりリアルに感じていただけたらと思いました。

ぜひ、市でイクボス宣言をした効果、ボスとしてこんなところに気をかけるようになった、こんなところが良かったなど具体的な言葉でぜひ、企業に向けて市の部課長から実感のある言葉で伝えていく、そんなイクボス宣言の第2段階に移っていくことができればよいと思います。

事務局

色々なご意見をいただきありがとうございます。

今回の会議で今後の方向性について大分見えてまいりましたので、いただいたご意見を庁内に持ち帰り、より具体的な施策を決めてまいりたいと思います。委員の皆様には今後ご報告していきたいと思います。

議長

それでは、イクボスの意見交換はこれで終わりしたいと思います。

皆様から、他に議題があれば、お願いいたします。

事務局

「フォトコンテスト」について、来年の実施に向け募集テーマ・募集方法・対象等について皆様のご意見を伺います。

各委員より意見

- ・今回は男性が被写体のフォトコンテストだったが、女性も参加したいという声があった。
- ・わが社は女性がとても頑張っているので、そこにフォーカスしたフォトコンができればよい。
- ・頑張るお母さんをテーマに、自転車に子どもとマイバックを載せて育児に頑張っているお母さん。
- ・女性のギャップが伝わるものはどうか。スーツや通勤着で子どもを抱え保育園により出勤する姿など。
- ・当たり前のように頑張っているが当たり前ではないということが伝わるようなテーマのフォトコンテストも面白い。
- ・企業に募集を呼びかけ、〇枚一口で会社ごとに応募してもらう。
- ・企業として参加してくれるところに賞を出すのはどうか。
- ・部門を設けて賞を決める。(イクボス賞、ワークライフバランス賞、輝く〇〇賞など)

事務局

いろいろなご意見をいただきありがとうございます。

次年度のフォトコンテストの貴重な御意見として、参考にさせていただきます。

委員

ありがとうございました。議事は以上となります。

4 閉 会

本日は委員の皆さまにご協力をいただきながら会議を進めていくことができました。ありがとうございました。

また、事業に向けてのきっかけ、アイデアをいただきありがとうございます。

女性活躍に向け事業も来年度3年目を迎えます。飛躍する年となるよう、今後も女性応援会議へのご提案、ご協力よろしくお願いたします。(会議終了)